

エコアクション21

環境経営レポート

令和4年

対象期間（令和4年1月1日～令和4年12月31日）



作成 令和5年4月1日

高見建設株式会社

933-0826 富山県高岡市佐野1654番地
TEL 0766-25-6670 FAX 0766-28-4649

目 次

1	組織の概要・対象範囲	-----	1
2	環境経営方針、行動指針	-----	2
3	環境経営 体系図	-----	3
4	環境経営 目標	-----	4
5	環境経営 目標と計画、実績・評価	-----	5～7
	二酸化炭素排出量の削減	-----	5
	廃棄物の排出量の削減	-----	6
	排水量の削減 その他環境活動	-----	7
6	環境関連法規への違反、訴訟等の有無	-----	8
7	エコアクション21を開始してから10年間の変化	-----	9～10
	事務所の電気・灯油使用からの二酸化炭素排出量	---	9
	事務所及び工事現場の二酸化炭素排出量の変化	---	10
8	代表者による全体の評価と見直し	-----	11

組織の概要・対象範囲

◇ 会社概要

所在	在地	本社	富山県高岡市佐野 1654 番地
		資材置場	富山県高岡市荒見崎 44 番地 1
		機材置場	富山県氷見市堀田立の山 1-1
商	号	高見建設株式会社	
代	表 取締役	出口 宗克	
環	境管理責任者	出口 宗克	
環	境 担当者	堂田 千秋	

◇ 事業内容

土木工事業

◇ 許可・認証

建設業許可：富山県知事（般-4）第 7482 号
土木 とび・土工 補装

◇ 登録範囲及び適用範囲

土木工事

◇ 事業の規模

1.	令和 5 年 4 月 1 日現在	
2.	沿革	
	昭和 58 年 6 月	有限会社高見建設にて創業
	昭和 63 年 10 月	高見建設株式会社に変更
	平成 15 年 12 月	ISO9001-2000 認証取得
	平成 24 年 7 月	エコアクション 21 認証登録
	平成 29 年 12 月	ISO9001-2015 認証取得
	平成 30 年 9 月	出口宗克が代表取締役に就任
3.	資本金 2,000 万円	
4.	工事完成高（令和 4 年度）	75,703 千円
5.	従業員数 10 名	
6.	床面積	
	事務所床面積	133 m ²
	倉庫床面積	65 m ²
	資機材置場面積	709 m ²

◇ Mail

・ Mail takamikk@p1.coralnet.or.jp

環境経営方針

当社は、土木工事業を通じて環境負荷の低減を実践し、自然との調和を大切にし、循環型社会を目指します。

行動指針

① 事業活動を通して、次の事項について目標を定め、継続的に改善活動に取り組みます。

- ◆ 事業活動において、化石資源、電力量の削減による二酸化炭素排出量低減を図る。
- ◆ 事業活動において、水資源の使用量を削減する。
- ◆ 事業活動からなる廃棄物を減量化し、発生した廃棄物は分別し、資源としてのリサイクルに努める。
- ◆ 施工する工事における環境活動の推進。

②

- ・この環境方針はすべての従業員に周知します。
- ・環境関連法規・条例などの遵守に努めるとともに業界の指針に沿って活動します。

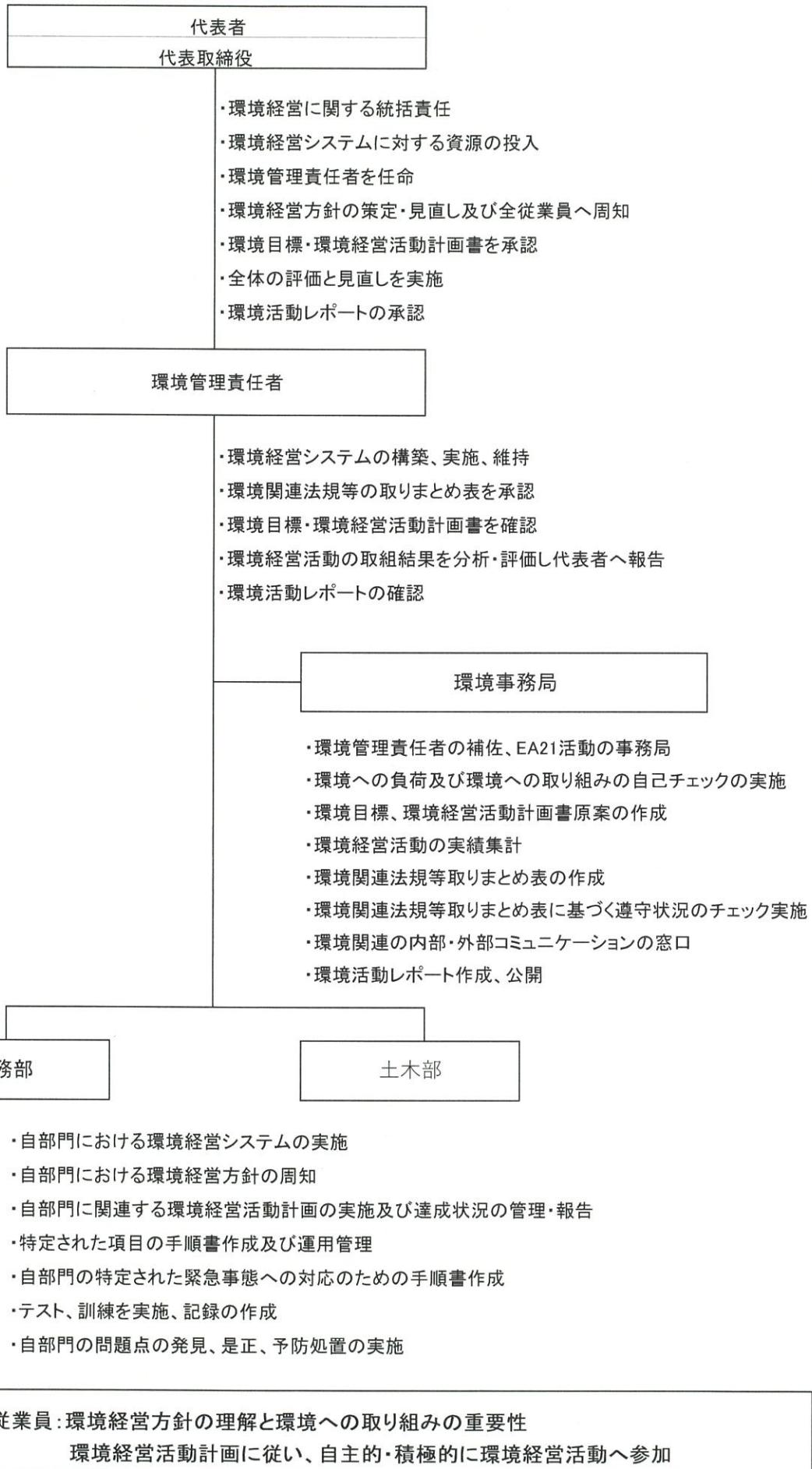
制定日：2011年11月1日

改訂日：2022年1月1日

高見建設株式会社

代表取締役 出口宗克

環境経営 体系図



環境経営目標

作成 令和4年 1月 31日

二酸化炭素排出量 目標: 前年の値を維持管理(前年の+10%増まで)

上段: 維持範囲

下段: 前年値

項目		実施区	事務所	工事現場	氷見営業所	項目ごと 合計
二酸化炭素の排出量	エネルギー	電力 KDDI排出係数0.577	4,231	—	830	5,061
			(3,846)	—	(755)	(4,601)
	化石燃料	ガソリン 軽油 灯油 ガス	9,686	47,936	11,232	68,854
			(8,806)	(43,578)	(10,210)	(62,594)
			13,917	47,936	12,062	73,915
単位 kg-CO2		実施区ごと 合計	(12,652)	(43,578)	(10,965)	(67,195)

廃棄物排出量 目標: 前年の値を維持管理(前年の+10%増まで)

上段: 維持範囲

下段: 前年値

廃棄物排出量	実施区	事務所	工事現場	資材置場 (混廃BOX)
	項目	105kg	—	—
	紙類	(95kg)	—	—
	産業廃棄物	—	135t	3回 (3回入替)

排水量	項目	実施区	目標
	井戸水	事務所 工事現場	井戸水が湧き出ていて数値化できないので有効活用したり、節水を心掛ける。 水の維持管理を行う(節水、トイレの音姫)

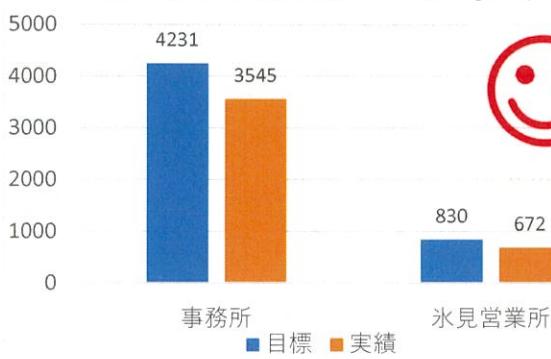
自らが施工する工事 における環境活動	1.砂埃防止対策
	2.工事点数の向上(地域貢献、創意工夫) 3.油漏れ等の環境汚染対策の講習 4.植樹した樹木の管理
1.砂埃防止対策	
2.工事点数の向上(地域貢献、創意工夫)	
3.油漏れ等の環境汚染対策の講習	
4.植樹した樹木の管理	

【中期目標】

今後3年間の中期目標としては現状維持管理を行う。
ただし大きな変動等ある場合は見直しをかける。

環境経営 目標と計画、実績・評価

二酸化炭素排出量の削減

	計画	目標(維持範囲)と実績												
電力使用量の削減	1.不要照明の消灯 2.エアコンの設定温度標準化 3.ウォームビズ、クールビズの実践	 <p>電力による二酸化炭素排出量 単位 (kg-CO2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事務所</td> <td>4231</td> <td>3545</td> </tr> <tr> <td>氷見営業所</td> <td>830</td> <td>672</td> </tr> </tbody> </table> 	場所	目標	実績	事務所	4231	3545	氷見営業所	830	672			
場所	目標	実績												
事務所	4231	3545												
氷見営業所	830	672												
化石燃料使用量の削減	ガソリン・軽油の削減 1.急発進・急停車の禁止 2.冷暖房の適正使用 3.不要物の積載禁止 4.タイヤの空気圧のチェック 5.早めのアクセルオフ 6.無駄なアイドリングストップ 7.安全運転（無事故無違反） 報奨金制度の運用 暖房燃料（灯油）の削減 1.ストーブの設定温度の標準化 2.ウォームビズの実践 3.退社10分前の消火	 <p>化石燃料による二酸化炭素排出量 単位 (kg-CO2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事務所</td> <td>9,688</td> <td>8,949</td> </tr> <tr> <td>工事現場</td> <td>47,936</td> <td>35,548</td> </tr> <tr> <td>氷見営業所</td> <td>11,232</td> <td>8,540</td> </tr> </tbody> </table> 	場所	目標	実績	事務所	9,688	8,949	工事現場	47,936	35,548	氷見営業所	11,232	8,540
場所	目標	実績												
事務所	9,688	8,949												
工事現場	47,936	35,548												
氷見営業所	11,232	8,540												
	【次年度の計画について】 今後も前回と同様の活動内容で 引き続き取り組んでいく	<p>◆環境事務局からの報告</p> <p>目標値は、前年の二酸化炭素排出量の+10%以内までとしている。事務所及び氷見営業所のどちらも目標を達成することができた。化石燃料においても、各実施区において目標を達成することができた。</p> <p>◆環境管理責任者からのコメント・提案</p> <p>今後も維持し、さらに少しでも減少に努めたい</p>												

廃棄物の排出量の削減

紙類の排出量の削減	計画	目標(維持範囲)と実績				
	1.裏紙の再利用 2.両面コピー、縮小コピー 3.Faxのペーパーレス化の推進 4.ゴミの分別収集	<p>事務所における紙類の排出量 単位(kg)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>105</td> <td>59</td> </tr> </tbody> </table>	目標	実績	105	59
目標	実績					
105	59					
産業廃棄物排出量及び混廃BOX交換の削減	廃棄物の削減 1.売却処理 2.資材は適正に発注 3.マニフェストをもとに産業廃棄物の適切な処理確認	<p>工事現場における産廃排出量 単位(t)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>135</td> <td>447</td> </tr> </tbody> </table>	目標	実績	135	447
目標	実績					
135	447					
	<p>混廃BOX交換回数 単位(回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	目標	実績	3	5	
目標	実績					
3	5					
【次年度の計画について】		<p>◆環境事務局からの報告</p> <p>紙類にいおいては目標を達成できたが、産業廃棄物においては、施工工事の産廃の設計量が多かったせいもあり昨年に比べ大幅にアップした。</p> <p>◆環境管理責任者からのコメント・提案</p> <p>紙類は公共工事の受注減も関係あると思われるが、ペーパーレスに努める。産業廃棄物は工事の内容にもより致し方ない部分もある。</p>				

排水量の削減 その他の環境活動

	計 画	目標と実績
排水量の削減	<p>維持、管理</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.水の維持管理 (節水、トイレの音姫) 2.冬期の水道管の点検 3.井戸水の有効活用 <p>【次年度の計画について】</p> <p>今後も前回と同様の活動内容で引き続き取り組んでいく</p>	  <p>◆環境事務局からの報告</p> <p>当社は水が豊富に湧き出ている地域であり、排水量は測定できないが、事務所だけでなく、現場や資材置き場においても、川の水や井戸水を洗車、融雪、暑中対策等に有効活用することができた。</p> <p>◆環境管理責任者からのコメント・提案</p> <p>所在地（地理的）の利点を活用し少しでも無駄がない様に利用している</p>
自らが施工する工事における環境活動	<ol style="list-style-type: none"> 1.砂埃防止対策 2.工事点数の向上 (地域貢献、創意工夫) 3.油漏れによる環境汚染対策の講習 4.植樹した樹木の管理 <p>【次年度の計画について】</p> <p>今後も前回と同様の活動内容で引き続き取り組んでいく</p>	  <p>◆環境事務局からの報告</p> <p>地域貢献の1つとして用水路の清掃を行ったり、社内でエコアクション講習会を開催した。環境対策をした重機の使用、排出物においては環境に良い状態で還元、又はリサイクルするよう心掛けている。</p> <p>◆環境管理責任者からのコメント・提案</p> <p>車両、重機の日常点検を行い、原動機等の不良による環境汚染を予防する</p>

※ 化学物質は当社では今のところ使用しておりません。

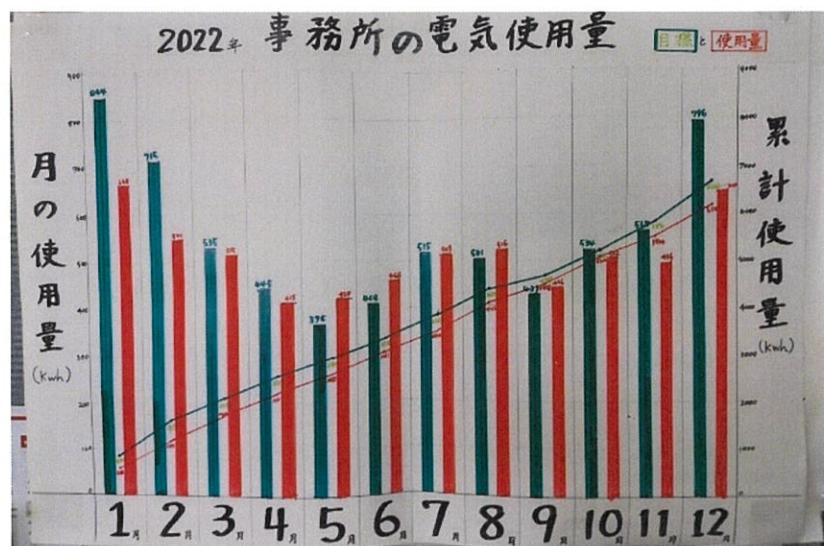
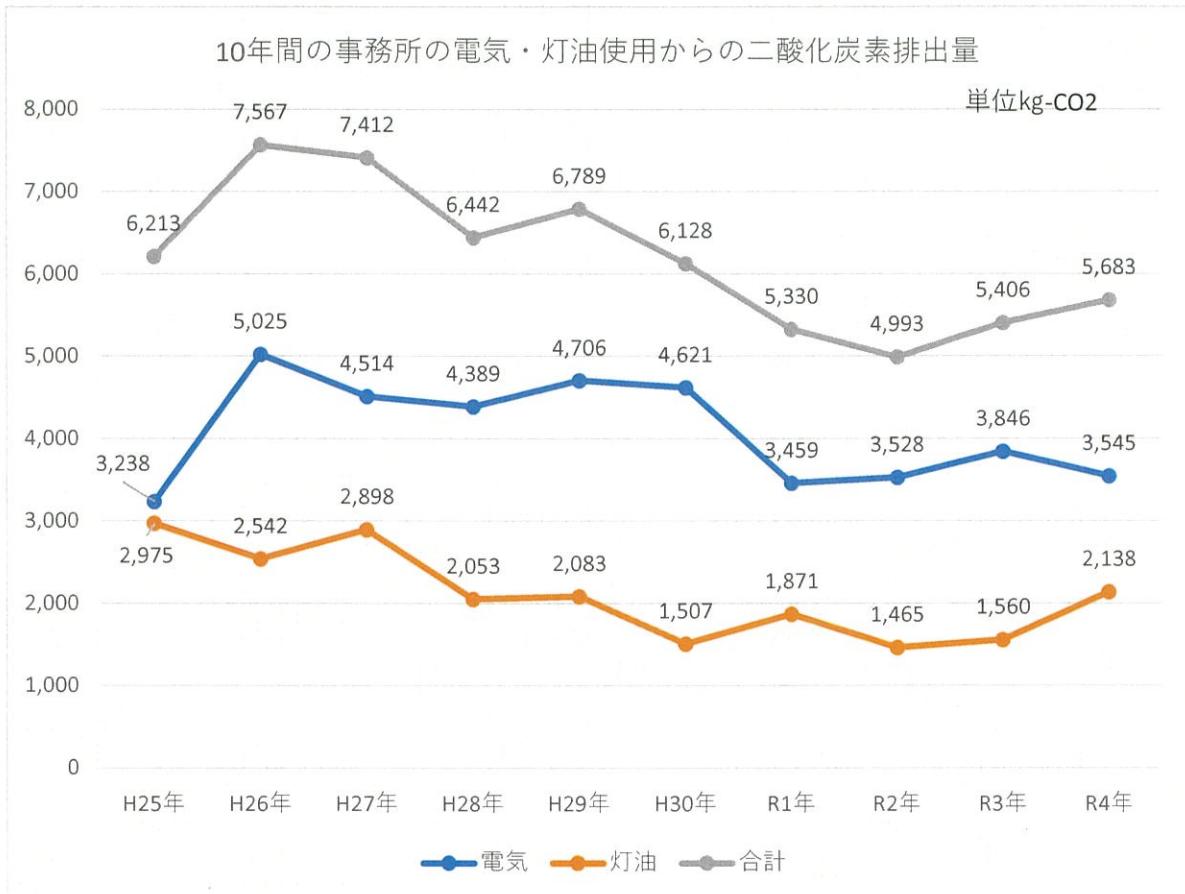
環境関連法規への違反、訴訟等の有無

建設業において法的義務を受ける主な**環境法規制等**

- ・廃棄物の処理法
- ・建設リサイクル法
- ・再生資源利用省令
- ・建設工事公衆災害防止対策要綱（土木）
- ・騒音規制法
- ・振動規制法
- ・特定特殊自動車排ガスの規制等に関する法律
- ・大気汚染防止法
- ・フロン排出抑制法
- ・オフロード法
- ・環境基本法
- ・河川法
- ・下水道法
- ・浄化槽法
- ・悪臭防止法
- ・消防法
- ・小型家電、家電リサイクル法
- ・富山県・高岡市環境条例
- ・道路交通法、道路法

当社でまとめた環境関連法規条例並びにその他の規制を取りまとめたチェックリストにより確認をした結果、活動期間での違反は見当たりません。

また、過去3年間、行政からの指摘・関係者からの訴訟もありませんでした。

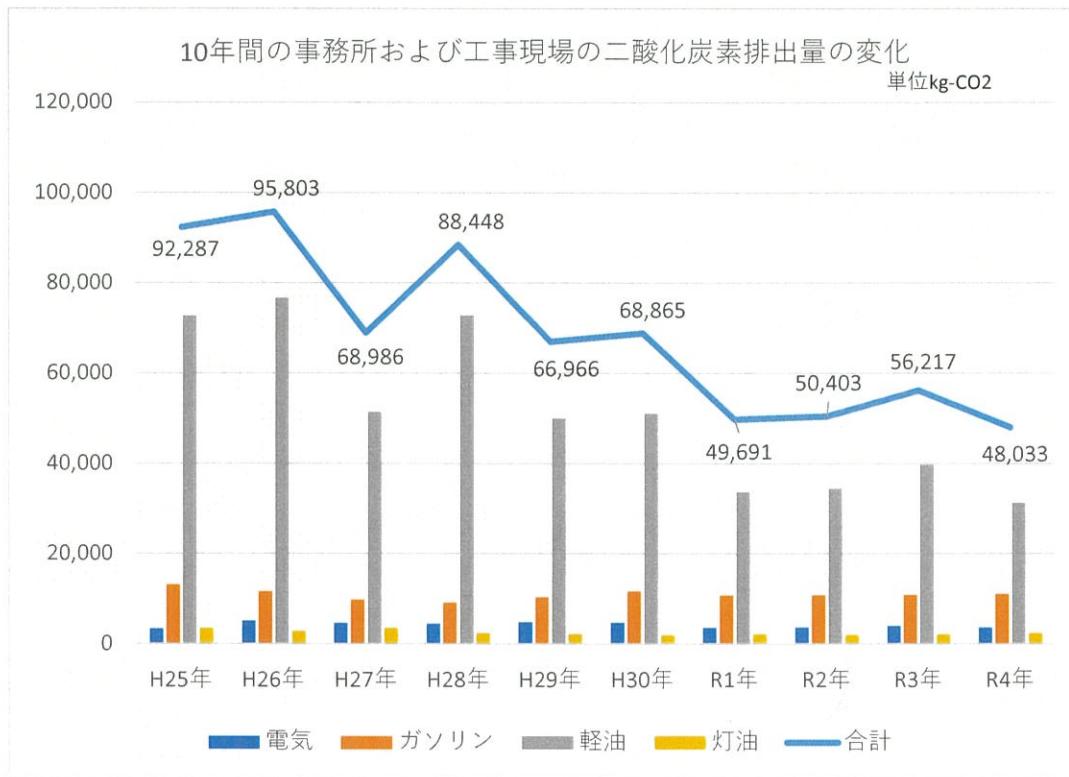


エコアクション21の活動を開始してから10年が経過しました。

開始当初は、二酸化炭素排出量の削減に向け基準年の排出量から毎年1%づつ削減するという目標で活動を続けてきました。

事務所内には、毎月の電気使用量をグラフに示したものを掲示し、意識づけを行ってきました。その結果、事務所に関してはエコアクションの活動効果が定着し、相対的に二酸化炭素排出量が減っていました。しかしここ近年はさらなる削減が難しくなってきました。

そこで二年前からは、前年の排出量を維持するという目標に代えて取り組んでいます。



会社全体（事務所および工事現場）における二酸化炭素排出量を10年間で見てみると、当社は建設会社であるため、二酸化炭素排出量のほとんどが軽油の使用量からです。ここ4年間はコロナに影響もあり軽油からの二酸化炭素排出量が減っています。工事内容にもよるのですが、売り上げの減少に伴い軽油の使用量も減少し二酸化炭素排出量も減少したものと考えられます。

今後はSDGsへの取組も取り入れながら、さらなる環境経営活動に取り組みたいと思います。今年では、会社として『一斉省エネデー』に参加し2日間とも実践することができました。また、宅急便の再配達を防止するため、荷物の受取は自宅以外に会社を受取場所に指定して確実に受け取れるよう社員に周知し実践しています。

代表者による全体の評価と見直し

作成日

令和5年1月30日

	報告（環境事務局）	コメント・提案（環境管理責任者）	評価・指示事項・変更の必要性（代表者）
環境目標及び環境経営計画	P5～P7にて	P5～P7にて	10年間の二酸化炭素排出量はここ2年はやや微増ではあるが、右肩下がりに減少していることは活動の成果であると思われる。しかしながら、昨今のエネルギーの高騰によるコストアップは避けられない状況であり、今後も些細なことでも無駄を省いていくことで成果が得られると思う。 変更の必要性 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
環境法規の遵守	環境関連法規制等の遵守状況 R4.12に最新法規の確認及び遵守状況の最終確認を行った。	全ての項目について遵守されている事を確認した。	問題なし。経過を見守る 変更の必要性 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
環境方針	社内掲示により社員に周知している	社員教育でも指導	今後の維持継続する 変更の必要性 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
実施体制	水見営業所は現在機材置場となったので今後は排出量のみを調べていく ・社内の環境経営組織体系は 変更なし	・組織の変更は特になし	資材置き場及び機材置場は必要最低限の使用量しかないので、目標を定めたりせず、排出量のみ調べていく 変更の必要性 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無

※代表者は評価結果に基づき、環境方針・環境目標・環境活動計画及び環境経営システム等について変更の必要性を判断する。